



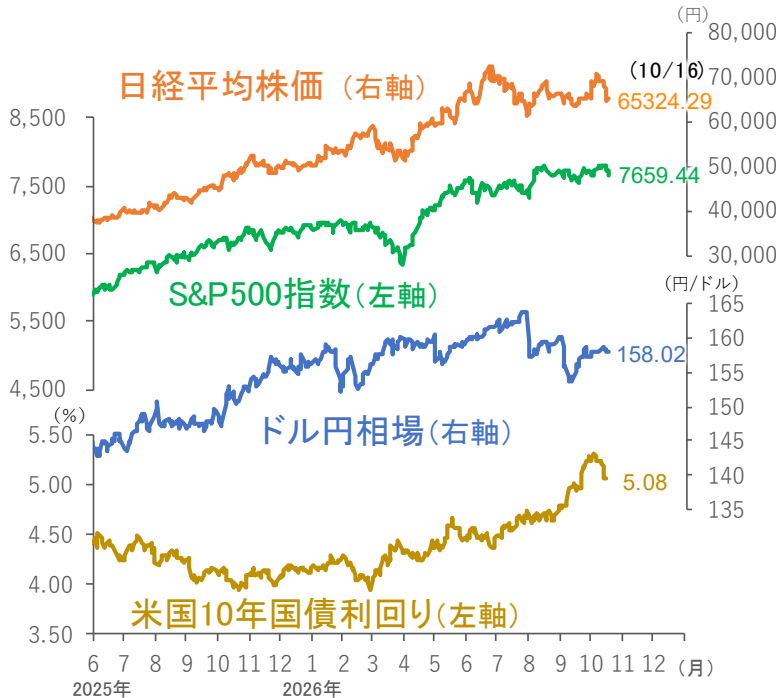
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.10.19

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



先週は、新興AI企業の信用不安問題や原油価格が再び1バレル=100ドルを超える上昇となったことから株式市場ではテクノロジー株を中心に売りが膨らみました。週間騰落率では、S&P500指数は▲1.9%、ナスダック総合指数▲4.5%、日経平均株価は▲5.4%の下落となりました。一方、独DAX指数は+2.1%と反発するなど欧州株は揃って上昇しました。債券市場は株式からの資金シフトで買いが優勢となりました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲17bpの5.08%、ドイツは▲6bpの3.43%、日本は同▲9bpの2.93%で引けました。ドル円相場は、158円を中心にもみ合いが続きました。

今週は、AI・半導体株の下落に歯止めが掛かるかが、焦点となります。今年6月～7月にかけてのAI・半導体株の調整局面では、大手テクノロジー企業の好調な企業決算と旺盛な設備投資計画の発表が反転のきっかけとなりました。米メタなどのAI・半導体関連企業の7-9月期決算発表が注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 中・7-9月期GDP (19日)
- ★ 米・10月NAHB住宅指数 (19日)
- ◆ 日・9月貿易統計 (21日)
- ◆ 日・銀行貸出動向10月調査 (22日)
- ◆ 日・9月コアCPI (23日)
- ◆ 日・米・欧 総合PMI10月速報値 (23日)

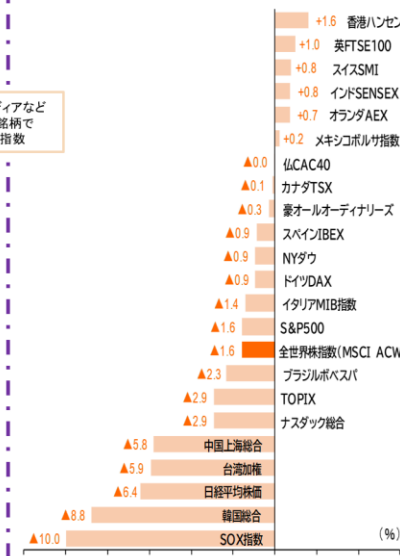
★：りそな景気先行指数関連指標

先週の世界株式市場では、AI半導体関連株の比重が高い、ナスダック総合指数や日経平均株価などが下落する一方、医薬品・生活必需品などディフェンシブ業種の比重が高い欧州株が上昇する2極化となりました

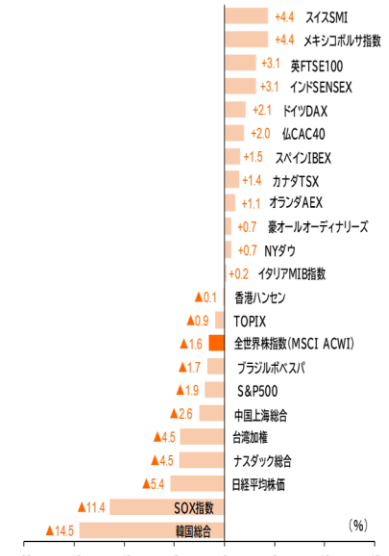
2026年初来(10/9まで)



7月第3週(7/13~17)



先週 (10/12~10/16)



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

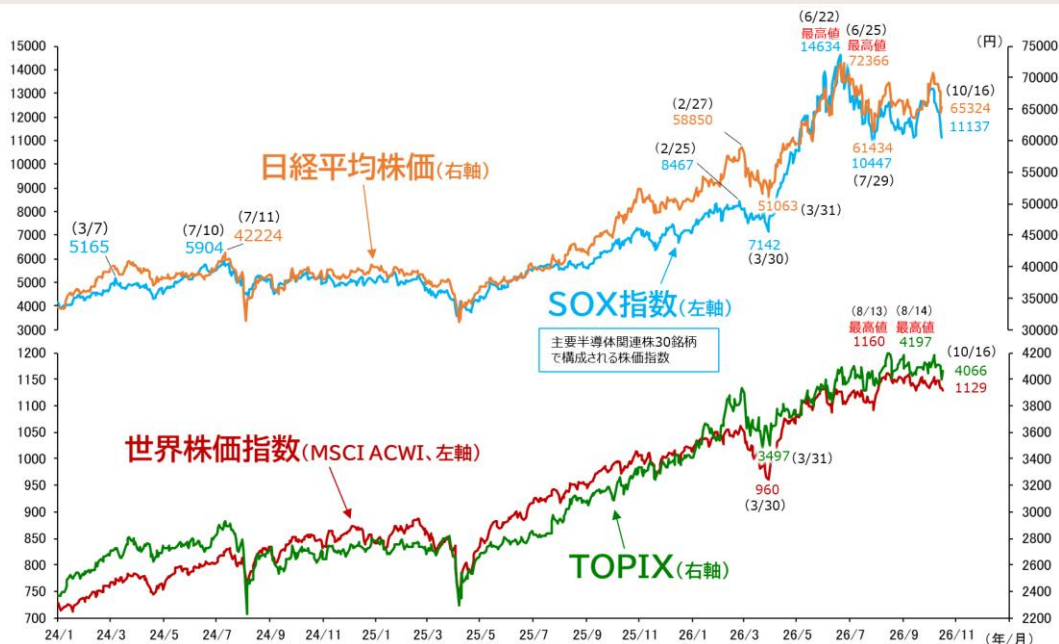
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

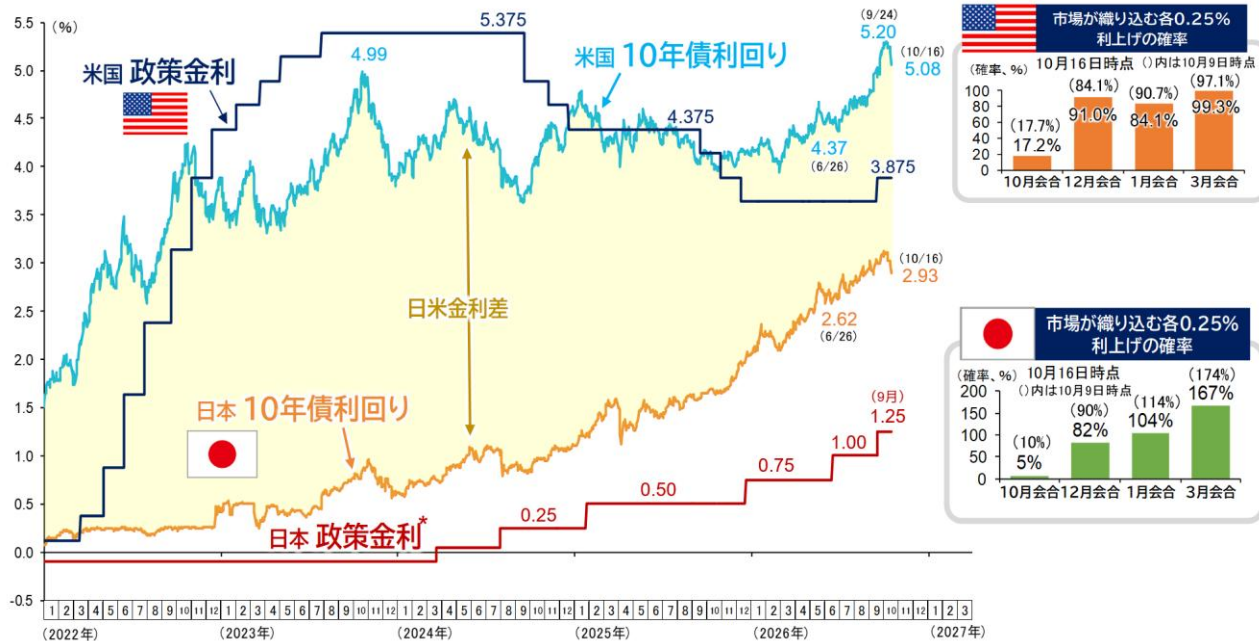
RESONA

AI半導体株の比重が高いSOX指数、日経平均株価は4-6月期の急騰の反動で調整地合いが続く一方、市場全体の動向を表す世界株式指数(MSCI ACWI)やTOPIXは最高値から▲2-3%程度の水準で底堅く推移しています



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は9月米CPIが予想を上回りましたが、米国の利上げ観測は高まらず、日米長期金利は低下しました。市場が織り込む10月会合での利上げ確率は、米国は約17%、日本は約5%と金利据え置きの見方が大勢です



* 日本の政策金利：2024年3月19日までは日銀当座預金金利、2024年3月21日以降は無担保コール翌日物金利

【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今回は 2026年10月26日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。